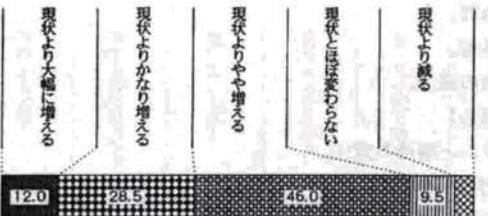


Q3. 大学・短大志願率

	合計	一回目調査					無回答	合計	二回目調査					
		現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状よりかなり減る	現状よりやや減る	現状よりかなり減る			現状より大幅に増える	現状よりかなり増える	現状よりやや増える	現状よりかなり減る	現状より減る	
	合計	104	28	39	26	6	3	2	200	24	57	92	19	8
	性別	100.0	26.9	37.5	25.0	5.8	2.9	1.9	100.0	12.0	28.5	46.0	9.5	4.0
	男	96	28	37	21	6	3	1	184	22	55	83	16	8
	女	100.0	29.2	38.5	21.9	6.3	3.1	1.0	100.0	12.0	29.9	45.1	8.7	4.3
		8	-	2	5	-	-	16	2	2	9	3	-	-
		100.0	25.0	62.5	-	-	12.5	100.0	12.5	12.5	56.3	18.8	-	-
年齢	20才代	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-
	30才代	6	2	1	3	-	-	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-
	40才代	100.0	33.3	16.7	50.0	-	-	11	3	2	6	-	-	-
	50才代	17	9	7	1	-	-	100.0	27.3	18.2	54.5	-	-	-
	60才代	100.0	52.9	41.2	5.9	-	-	43	9	14	15	4	1	-
	70才代	14	4	7	3	-	-	100.0	20.9	32.6	34.9	9.3	2.3	-
	80才代	100.0	28.6	50.0	21.4	-	-	37	3	12	19	3	-	-
	90才代	100.0	30.0	32.5	22.5	10.0	-	100.0	8.1	32.4	51.4	8.1	-	-
		40	12	13	9	4	-	66	4	16	35	6	5	-
		100.0	30.0	32.5	22.5	10.0	-	100.0	6.1	24.2	53.0	9.1	7.6	-
		23	1	10	8	2	2	37	2	13	16	4	2	-
		100.0	4.3	43.5	34.8	8.7	B.7	100.0	5.4	35.1	43.2	10.8	5.4	-
		2	-	1	-	-	100.0	1	-	-	1	-	-	-
		100.0	-	50.0	-	-	100.0	1	-	-	100.0	-	-	-
		1	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-

Q3. 2010年における「大学・短大志願率（現役生のみ）」はどれくらいの水準か？



第1回調査結果 現状よりやや増える【37.5%】 現状よりかなり増える【26.9%】
現状とほぼ変わらない【25.0%】 現状よりやや減る【5.8%】

志願率では「現状よりやや増える」46.0%、次いで「現状よりかなり増える」28.5%、「現状より大幅に増える」12.0%と「増える」と予測した人の割合の合計が86.5%に達している。第1回調査で「現状とほぼ変わらない」が25.0%だったのに対し、今回は9.5%にとどまったのが今回の調査結果の特徴となっている。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q3. 2010年の大学・短大志願率（現役生のみ）の水準予測

Q3-A. 予測の理由・根拠

〔現状より増えると思う理由〕

- ・4年生大学への進学が女性にとっても常態となるため。
- ・大卒でないと就職できない職業が増加するため。
- ・大卒は当然という社会的雰囲気が生まれるため。
- ・収容力の拡大に伴い難易度が低下するため。
- ・社会がより知的能力の向上を求めるようになるため。
- ・所得が増加するため。
- ・高学歴信仰がまだ続くため。

〔現状と変わらないと思う理由〕

- ・大学進学者、志願者の比率は50%が限度と思われるため。
- ・大学志願の増加と、短大志願の減少がバランスして、トータルでは同割合となるため。
- ・専門職種への希望が増え、専門学校進学率が高まるため。
- ・大学、短大志願のみが人生の決定要因ではなくなっているため。
- ・大学で学ぼうとする意欲が現状でほぼ飽和状態にあるため。

Q3-B. その結果、何が最も変わるか

〔現状より増えた場合〕

- ・大卒の就職難の増大。短大はさらに就職難が進む。
- ・受験人口の増大で、受験への関心が一層高まる。
- ・高等教育の水準の下降。
- ・多くの資格、専門、個性の発揮できる時代になる。
- ・女性の職場の増加。
- ・高校教育の目標が、進学指導へと完全にシフトする。
- ・大学の生き残り戦略として、個性化が進む。
- ・職業高校、高専の人気低落。
- ・オーバードクター問題の深刻化。
- ・大学の分極化。
- ・学生の学校観が遊び志向に傾く。

- ・生涯学習機関の多様化が始まり、マルチメディア化、体験学習の時代となる。
- ・カリキュラムの自由選択が拡大する。
- ・大学間の学生獲得競争が激化する。